

湯平温泉場活力創造事業

観光客の2割増加(1日当り200人増)
地域収益の増加 2億2千万円(年間)

観光客の1割増加(1日当り100人増)
地域収益の増加 1億1千万円(年間)
内訳: 宿泊83,402千円
日帰り30,665千円

ステージ3『ジャンプ』
(2011年～)
湯布院の湯平から九州の湯平へ
きらりと光る湯平地域
新たな地域経営の展開

ステージ2『ステップ』
(2008年～2010年)
情報発信と受入れ態勢の整備
地域一丸で湯平を売り出し、地域外の
需要(外貨)を獲得
(2007年問題: 団塊の世代をターゲット)

ステージ1『ホップ』
(2005年～2007年)
「まちの骨格再生」
5つの共同温泉の再興と石畳浪漫漂うまち並みの形成
「地域の団結」
農―観連携事業の開始(将来の協働事業の基礎作り)

湯平再生の3つの柱

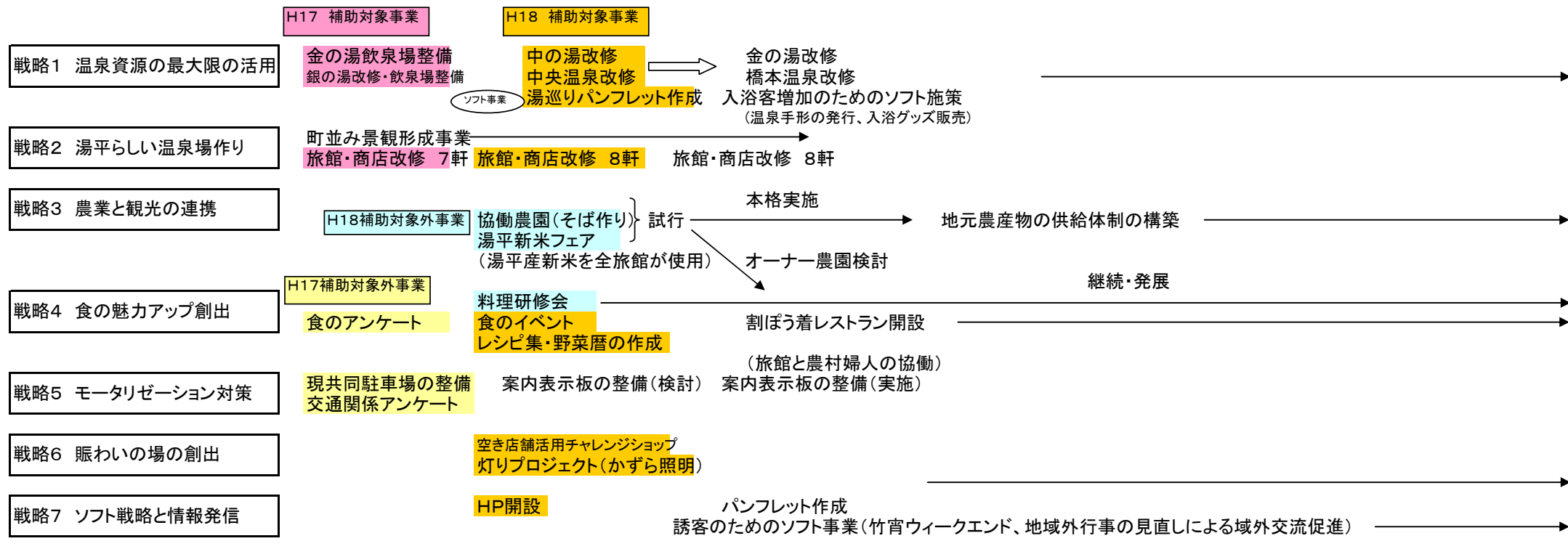
観光客の増加による
地域収益の増進

ハード事業中心

ソフト事業中心

合併特対事業の活用

地域資源の活用
(7つの戦略)



企画
実施
運営管理

活力創造会議の
自主自立

団体の枠を超えて設立
湯平区、観光協会、
旅館組合、温泉組合、
農業関係者等から構成

NPO法人化(H19年5月認証予定)

幹事会の設立: 実行する組織
若い世代・女性が参画する組織へ移行
既存団体の見直ししながら財政基盤を検討

地域を牽引する活力創造会議

役場に替わる地域のコーディネーター

財政基盤の確立
事務局体制の強化

若い世代、女性が活躍できる
仕組みを確立し、組織の継承を
行いながら継続的に発展

自主自立する湯平地域の実現

地域内の経済循環を確立

新たな地域経営の展開